



【読書】キャラクター「おっほん」

おっほんシート

札幌市立藤野中学校

読書センターとしての機能

■Google Classroom を利用した活動と各種企画

〈活動のねらい〉

- ・ 図書の情報発信や集約を迅速に行う。
- ・ 生徒の図書活用の機会が増えるようきっかけづくりを行う。

〈具体的な取組〉

1. 各学年の Classroom に、図書だよりや長期貸出のオススメ本の紹介等を行い、学校図書館に関わる情報を投稿して来館を促す。
2. Form を使用し、定期的に購入希望図書を集約する。同時に学校図書館への要望や意見を聞くことで、図書館運営改善の一助とする。
3. 「スタンプラリー」（全国読書週間と卒業週の年2回）や、テーマ種類別に集めた特別展示等を学校司書と共に行う。

目黒学校司書による
玄関前特別展示 →



学習センターとしての機能

■学校図書館資料を活用した課題探究的な学習

〈活動のねらい〉

- ・ 調べたい事柄について、必要な資料を学校図書館の本の中から収集する。
- ・ 収集した情報を活用した学習活動を通じて、幅広い分野の本への興味関心をもつ。

〈具体的な取組〉

1. 総合的な学習の時間：関心・興味のある職業に関する本や資料から必要な情報を採る授業。
 2. 国語科：近代文学名著を紹介するプレゼンテーション授業（2学年）。
 3. 各授業における各種「辞典」などの活用。
- ←プレゼンテーション授業後の発表作品展示で貸出も増加。



情報センターとしての機能

■学校司書によるレファレンス

本校の学校図書館で揃わない資料は、相互貸借（札幌市立図書館、近隣学校図書館など）を行い、資料を提供しています。

■学校司書によるレファレンス講座の実施



学校図書館の効果的な利用方法を伝えるために年度初めにレファレンス講座を行っています。



■新聞・地区資料等所蔵

学校図書館内に新聞閲覧台を設置し、生徒が自由に読めるようにしています。藤野地区関係の資料を所蔵し、地域展示等を行っています。

←今年が開校40周年でした。